

都心・三宮再整備について

資料2

神戸三宮阪急ビル



サンキタ通り



(仮称)JR三ノ宮新駅ビル



三宮クロススクエア



雲井通5丁目地区
(新バスターミナル1期)



市役所本庁舎2号館



※令和6年1月時点

中央区役所・
中央区文化センター

新港突堤西地区再開発



新港第1突堤基部



新港第2突堤

東遊園地再整備



北側エリア

税関線再整備



海と山に囲まれ、駅とまちが近いという立地条件を活かした新たなまちづくりのコンセプト
駅を出た瞬間に訪れた人々が自然とまちへ誘われる、「美しき港町・神戸の玄関口」



広く豊かな屋外空間を沿道建築物と一体となって整備し、密を避けながら安心して
駅から周辺エリアへ回遊していただける「歩いて楽しい“人が主役”の居心地の良いまち」を創出

※パースはイメージであり、今後の設計及び関係機関との協議により変更となる場合があります。

阪急神戸三宮駅北側エリアの再整備



2021年4月26日 開業

神戸三宮阪急ビル

サンキタ通り
(歩行者中心の空間へ再整備)

2022年9月15日 供用開始

大型ビジョン
(新たな情報発信拠点)

2022年10月 供用開始

デジタルサイネージ
(新たな情報発信拠点)

2021年10月2日 供用開始

サンキタ広場
(コンペ案をもとに再整備)

交差点改良
(広場拡幅)
(横断歩道のコンパクト化)

サンキタ通り～沿道のにぎわいが滲みだすストリートへ～



・2022年度グッドデザイン賞
(主催：公益財団法人日本デザイン振興会)



・2023年度都市景観大賞「都市空間部門」特別賞
(主催：「都市景観の日」実行委員会)

・2023年土木学会デザイン賞 優秀賞
(主催：公益社団法人土木学会景観・デザイン委員会)

サンキタ通り、サンキタ広場を含めた
阪急神戸三宮駅周辺地区において
3つの賞を受賞



078KOBE MUSIC



Kobe african party



Red Bull Street Jam



さんきたアペリティフ～実験夜市～



YOGA DAY KOBE

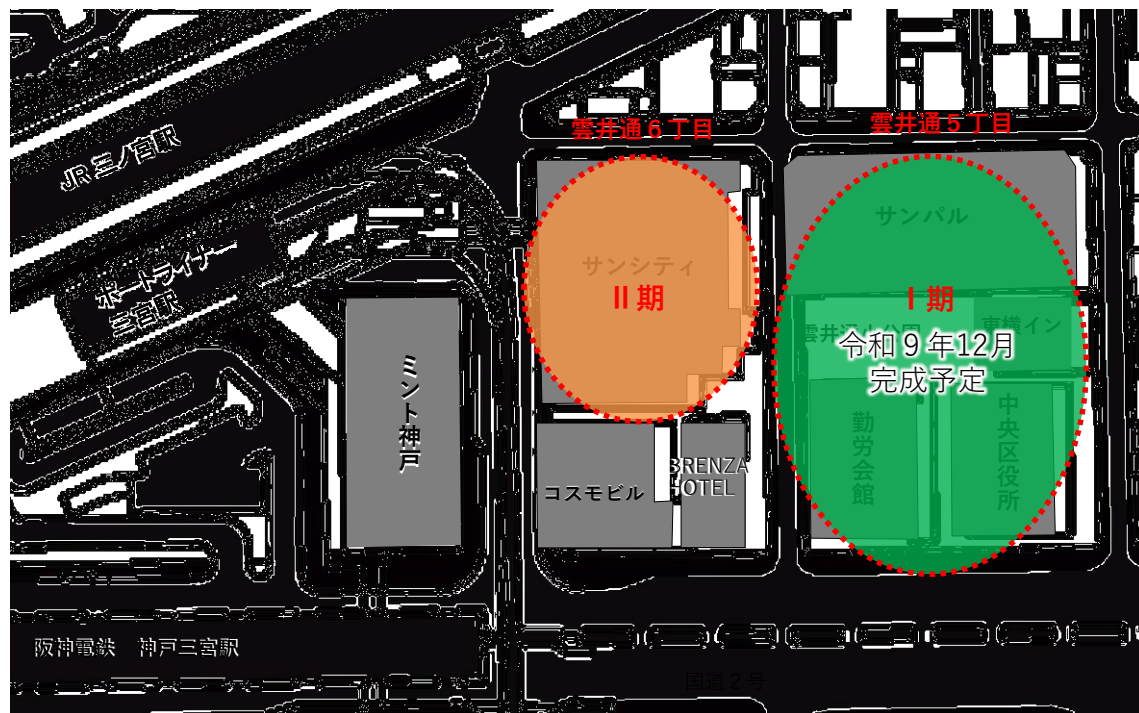


神戸コレクション2022

実行委員会にて広場利用のルールを策定 → 2023年7月24日よりサンキタ広場の一般利用を開始

新たなバスターミナルが入る再開発ビルの整備

<再整備ブロック分けイメージ>



<雲井通5丁目再開発事業の外観イメージ>



<2020年4月 国直轄道路事業として事業化>



<多様なモビリティとの乗継イメージ(地上)>

<雲井通5・6丁目再開発事業想定概略スケジュール>

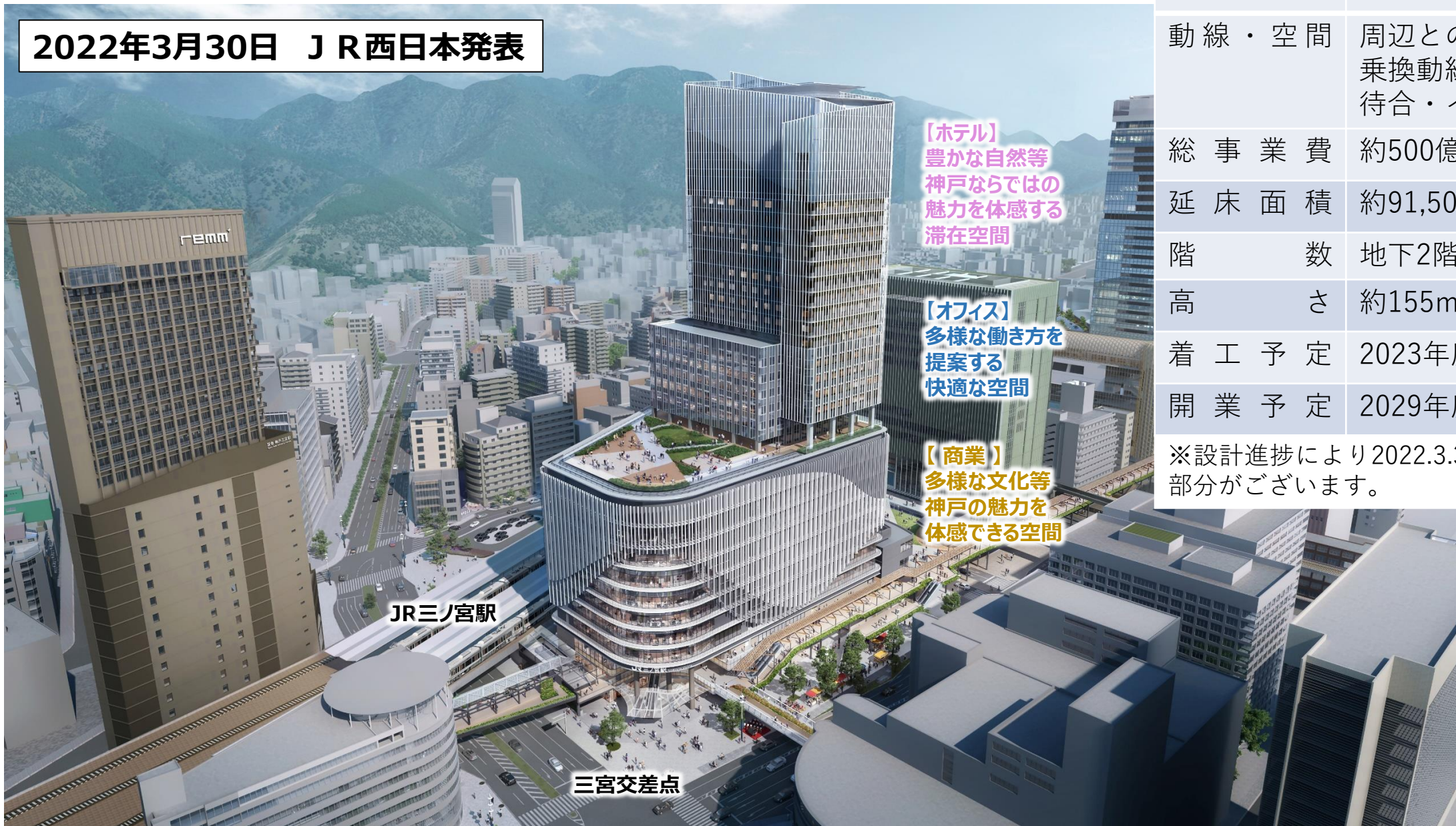
	R4年度 (2022年度)	R5~R8年度 (2023~2026年度)	R9年度 (2027年度)
雲井通5(I期)		R5.7 新築工事着手 解体工事・新築工事	R9.12 完成予定
雲井通6(II期)		計画検討/都市計画・事業認可手続き等 R5.7 準備組合設立	工事着手

※あくまで現時点の想定であり、スケジュールは変更になる可能性があります。

※これらのパースはイメージです

(仮称) JR三ノ宮新駅ビル開発

2022年3月30日 JR西日本発表



【ホテル】
豊かな自然等
神戸ならではの
魅力を体感する
滞在空間

【オフィス】
多様な働き方を
提案する
快適な空間

【商業】
多様な文化等
神戸の魅力を
体感できる空間

用途	商業、オフィス、ホテル
動線・空間	周辺との接続、 乗換動線の整備 待合・イベント空間の整備
総事業費	約500億円
延床面積	約91,500㎡
階数	地下2階、地上30階、塔屋2階
高さ	約155m
着工予定	2023年度
開業予定	2029年度

※設計進捗により2022.3.30発表時の内容と異なる部分がございます。

※パースはイメージであり、今後の設計及び関係機関との協議により変更となる場合があります。
※設計進捗により2022.3.30発表時のパースと異なります。

三宮駅周辺デッキ



※パースはイメージであり、今後の設計及び関係機関との協議により変更となる場合があります。

三宮クロススクエア（東側・空間イメージ）

三宮クロススクエア実現に向けた周辺地権者との協働の取組み

- ・平成30年度(2019年度)より、三宮駅周辺の地権者(22企業)を中心に三宮クロススクエアにおけるにぎわい創出のために勉強会を実施。令和5年度(2023年度)に同メンバーにより「神戸三宮「えき～まち空間」エリアマネジメント検討協議会」を設立
- ・サンキタエリア、磯上ロード(神戸阪急東側)、JRターミナルビル跡地等において、にぎわいづくりの社会実験を実施

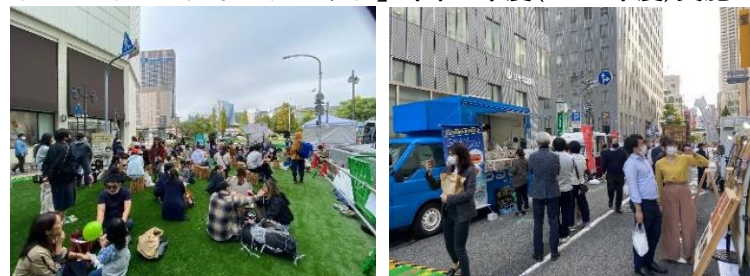
⇒勉強会や社会実験を通じて、民間主導で公共空間を利活用する仕組みの検討や、にぎわいのある居心地の良い空間づくりを実践

サンキタエリア



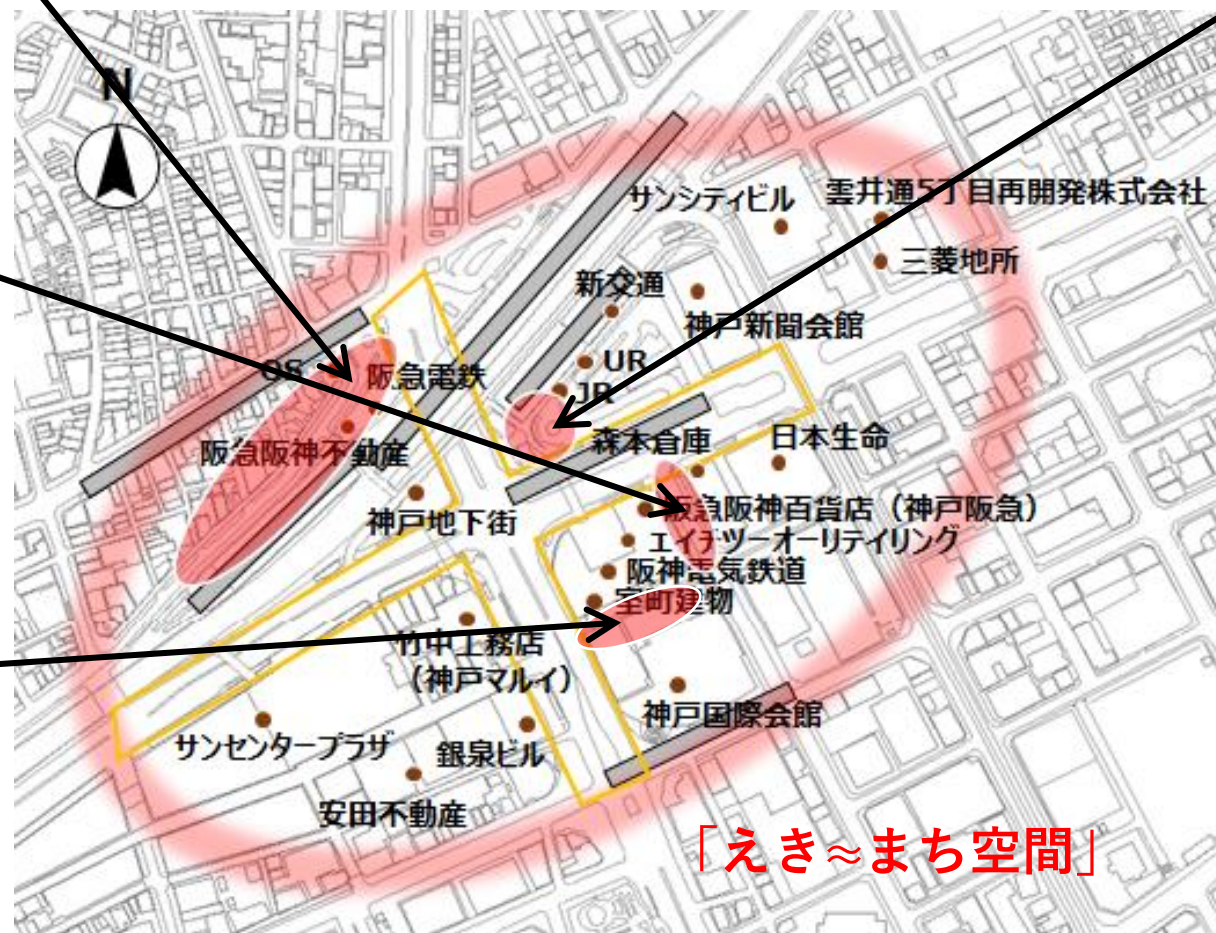
磯上ロード (神戸阪急東側)

「サンノミヤシティピクニック」 令和3年度(2021年度)実施



葺合南37号線 (神戸阪急本館南側)

「Sannomiya City Xmas」 令和5年度(2023年度)実施



JRターミナルビル跡地

「Street Table 三ノ宮」
令和2年(2020年)12月19日
～令和3(2021年)年11月28日



「& 3 PARK」
令和4(2022年)年4月1日
～令和5(2023年)年5月31日



「サンノミヤシティピクニック」 令和4年度(2022年度)実施



新港突堤西地区の再開発

新港第1突堤



①神戸ポートミュージアム (★2021年10月開業)
(劇場型アクアリウム(átoa)、フードホール、ブライダルデスク)

②Stage Felissimo
(フェリシモ本社(オフィス)、フェリシモホール) (★2021年1月開業)
(felissimo chocolate museum) (★2021年10月開業)
(sincro (レストラン)) (★2023年1月開業)

③ジーライオンアワーズビル
(GLIONグループ本社 (オフィス)) (★2021年4月開業)
(BMW等3ブランドショールーム) (★2021年7月開業)

④ベシシティタワーズ神戸 (西棟：2023年4月入居開始)
(住宅、商業施設) (東棟：2025年4月入居予定)

新港第2突堤



収容可能人数：約1万人
年間集客効果：約100万人



神戸市役所本庁舎2号館の再整備

2028年度完成予定

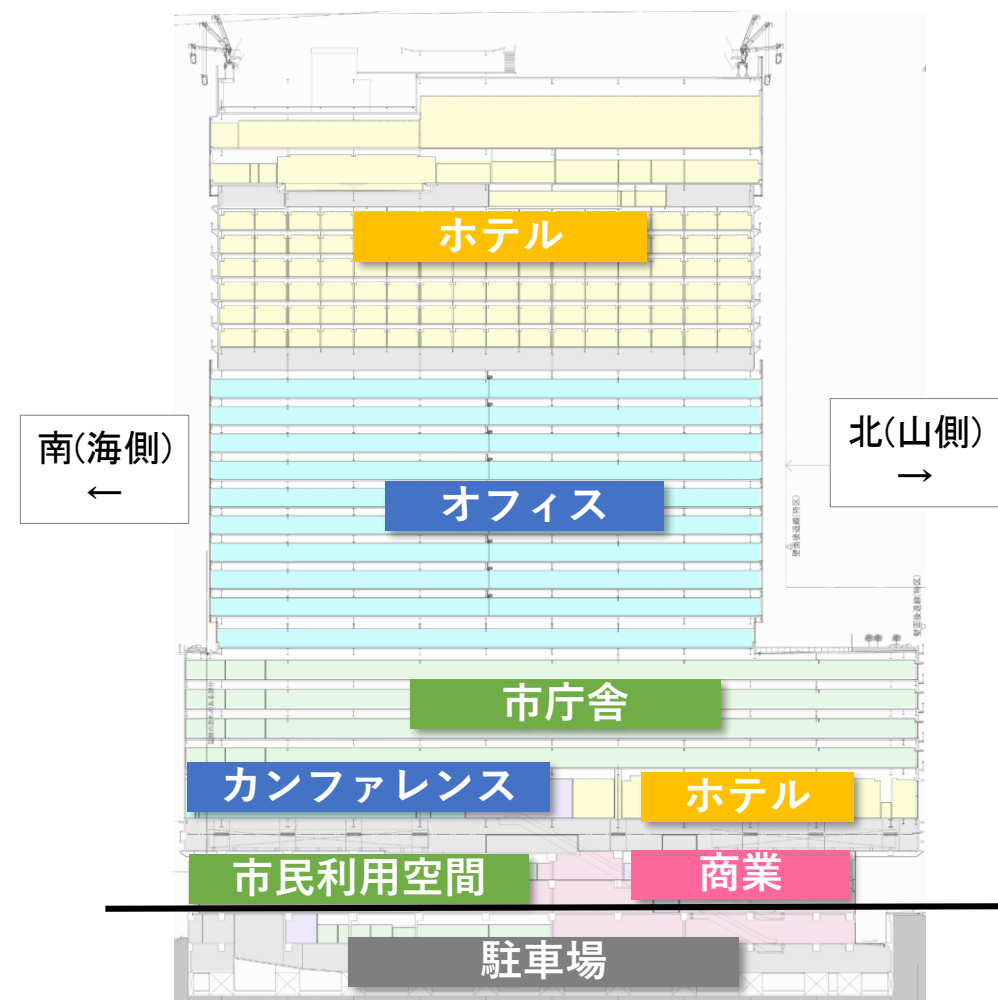
※下記内容は、令和6年1月時点のものであり、今後変更となる可能性がある

事業者

オリックス不動産(株)、阪急阪神不動産(株)、関電不動産開発(株)、大和ハウス工業(株)、芙蓉総合リース(株)
(株)竹中工務店、安田不動産(株)、(株)日建設計で構成されるグループ



外観（昼景）



施設構成（イメージ図）

東遊園地の再整備

- ・ 2022年 3月25日 こども本の森 神戸オープン
- ・ 2023年 4月 7日 にぎわい拠点施設【URBAN PICNIC】及び北側園地オープン



芝生ひろば



みちひろば/にぎわい拠点施設



見晴らしひろば

にぎわい拠点施設



『こども本の森 神戸』
 建築家・安藤忠雄さんからの寄附により誕生
 名誉館長は俳優・竹下景子さん



■連節バス「Port Loop(ポートループ)」

・開始日：2021年4月1日



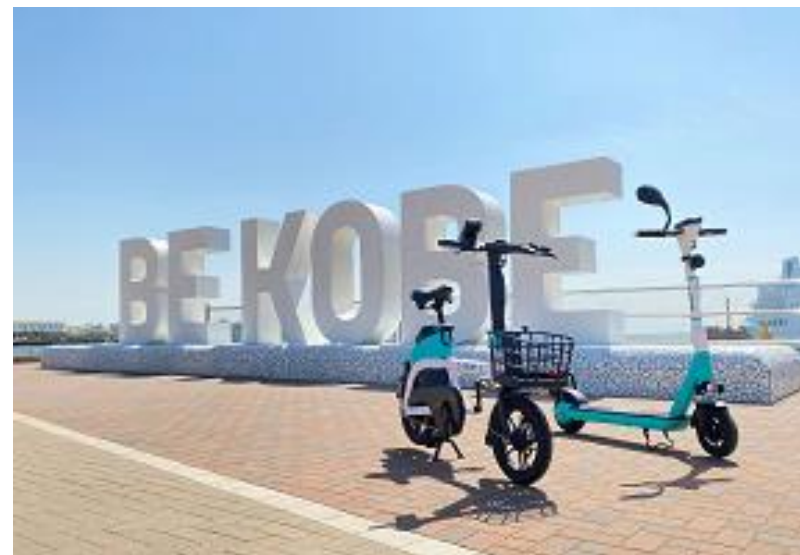
■シェアサイクル「Kobe Linkle」※通称 Kobelin(コベリン)



■自動運転モビリティ「iino (イイノ)」実証実験

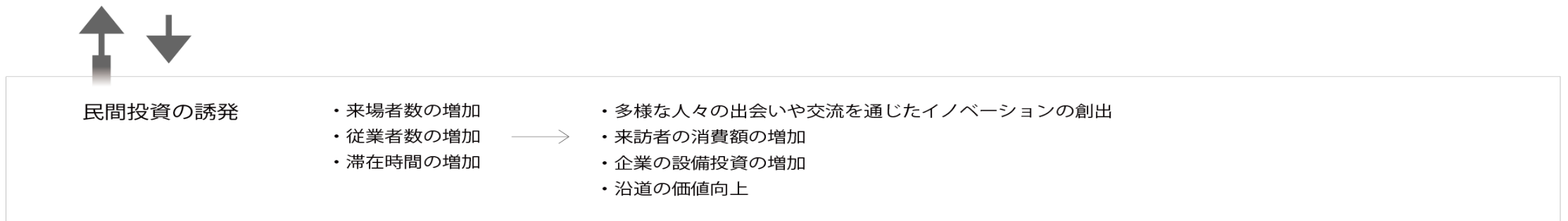
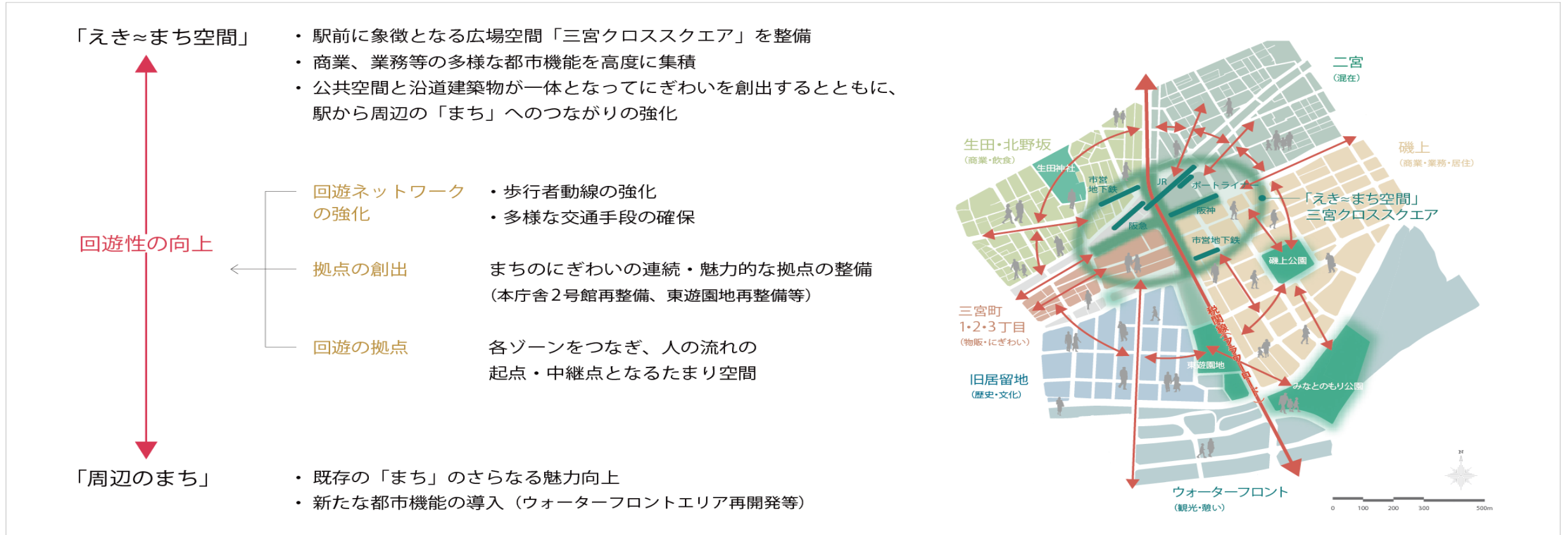


■電動キックボード「Luup」



三宮再整備の目指す姿

三宮再整備の目指す姿



↓

三宮だけでなく、神戸全体のまちの活性化・発展